

こころのはな



道徳教育について

昨年度から道徳の教科化が始まりました。本校では「思いやり・親切」「郷土や国を愛する心」を中心に道徳教育を推進していきます。

学校の教育活動の全てを通して行われるのが、道徳教育です。例えば、国語の学習では、登場人物の気持ちを考えることで人の気持ちをくみ取る力をつけていきます。その他学校生活の様々な場面や行事を通して子どもたちは日々たくさんのことを学んでいます。

その要として、毎週一時間行われる「道徳の時間」があります。学校生活の中では学べないことを補ったり、子どもたちが日々の生活の中で体験したことを自分とのかかわりの中で深めたり、発展させたりしていきます。今年度も、この道徳だよりで、年間を通して道徳の時間や行事での児童の様子をお伝えしていきたいと思います。

道徳教育の効果を高めるためには、家庭や地域との連携を図ることが大切だと言われています。昨年度に引き続き、授業参観などで道徳の授業の様子を公開する予定です。家庭でも保護者の方々と児童と一緒に考えたり話し合ったりして、子どもたちの豊かな心の成長に役立てていただきたいと思います。ご協力お願いいたします。

道徳の時間の様子～1年生「おはよう」～

二回目の道徳の授業を行いました。一回目の学習と同じように「道徳は『心』の勉強。自分の気持ちをみんなに知ってもらう勉強。みんなの気持ちを知る勉強。間違いはないのだよ。」と伝えてから「あいさつ」についての学習をしました。あいさつをしたり、されたりまた、されなかったりするとどんな気持ちになるかについて自分の考えを発表しました。その後、クラスの友達全員にあいさつをする活動をしました。



子どもたちの様子

- あいさつが返ってくると、うれしくなる。
- 「おはよう」とあいさつをするといい気持ちになる。
- これからも元気なあいさつをしていきたい。
- あいさつっていいな。
- あいさつをされないといやだな。